

カラマツオオアブラムシなど

カラマツの枝や細い幹に群生する茶色～黒色のアブラムシ。最大長約5mm。カラマツ幼齢林でまれに多発する。すす病を併発するため、木が汚れる。

カラマツオオアブラムシの他にカラマツミキオオアブラムシ，カラマツチビオオアブラムシ，カラマツイボオオアブラムシがいる。



1. カラマツイボオオアブラムシ，最大長約2.5mm.

2001/8/8. 美唄市，グイマツF1上.

【分類】 カメムシ目 (Hemiptera) ， アブラムシ科 (Aphididae)

カラマツオオアブラムシ

【学名】 *Cinara laricicola*

【分布】 北海道，本州；シベリア，朝鮮半島.

カラマツミキオオアブラムシ

【学名】 *Cinara kochi*

【分布】 北海道，本州.

カラマツチビオオアブラムシ

【学名】 *Cinara chibi*

【分布】 北海道，本州，九州.

カラマツイボオオアブラムシ

【学名】 *Cinara laricis*

【分布】 北海道，本州；全北区.

【特徴】

種名	最大長	体色（無翅胎生雌）
カラマツオオアブラムシ	5mm	茶色から黒色
カラマツミキオオアブラムシ	5mm	黒色，わずかに白粉をかぶる
カラマツチビオオアブラムシ	3mm	頭胸部は茶色，腹部は暗い茶色から黒色
カラマツイボオオアブラムシ	5mm	茶色で白や灰色の斑点がある

【生態】

いずれの種もカラマツ属に寄生する。

卵越冬。春に幼虫が孵化する。若い木の幹や枝に寄生し，春から秋にかけて吸汁加害する。その間に数世代を繰り返す。

【被害と防除】

カラマツオオアブラムシとカラマツチビオオアブラムシの多発が観察されている。しかし，それによる樹勢の低下や木の枯死は記録がないようである。防除は普通必要とされない。

【文献】

1962. 井上元則. カラマツを害するアブラムシの研究. 林業試験場研究報告, 139: 135-161, pls. 1-5. (形態, 生態, 被害)

北海道立林業試験場・緑化樹センター

カラマツオオアブラムシなど abura/karaooa/kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/10/15.

ibo.JPG

「写真1」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001.